

〔續三宮傳〕承秋門院東山帝中宮御諱幸子有栖川一品兵部卿幸仁親王御女元祿十年二月廿五日入内寶永五年二月廿六日中宮宣下同七年三月廿一日止中宮職同日門號定號承秋門院自今奉稱女院

○按ズルニ三后ニシテ院ト稱スル例猶少カラズ上文國母爲院ノ條參看スベシ

女御以下宮人爲院

〔増鏡九草枕〕まことや新院山龜にはひとせ近衛の大殿ひらののひめ君子女御に參り給にしぞかし女御と聞えつるを此ほど三月二十四日院號ありて新陽明門院とぞきこゆる

〔増鏡十一日の日陰〕やうふく福永もん院の御さしつぎのひめぎみ實女瑛子はや御さかりもすぐるほどなりしをこのほうわう山龜に參らせたてまつらせ給へりしがかひくしく水のまら

なみにわかやかかせ給てやがてゐんがうありしかばせうさん訓もん院ときこえつる

〔百練抄十五後嵯峨〕寛元元年二月廿三日庚午以從三位藤原彦子四條院女御爲宣仁門院

〔女院小傳〕永嘉門院瑞子中務卿宗尊女母大納言通具孫女平准后家女房叙品并親王宣下無之歟

正安四正廿准三宮同日院號元亨四七廿九出家後宇多五七日也後宇多宮人

〔女院小傳〕八條院暲子鳥羽第三女母長實卿女美福門院保延四四九爲内親王年中略應保元十二

十六乙卯院號

〔百練抄後鳥羽〕建久二年六月廿七日癸卯以親子内親王後白河皇女爲宣陽門院又母儀高階業子叙從

三位自親王院號以八條院鳥羽皇女暲子例也

〔玉海〕建久二年六月廿六日癸卯此日法皇後白河最第三姬親子内親王有院號事母法皇愛妃丹准后

之人直院號八條院七條院後鳥羽例也非母后之人蒙院號二條院後冷泉九條院近衛是也

雖准后擬母儀雖非母儀又皇后也非后位非母儀蒙院號之例今度始也然而時議之所推不及是非

者歟午刻宗賴申公卿散狀資實爲院御使來云院號之條人々所申如此注折紙可計申者也宣陽門也

余申云群議已一同宣陽門不可及異議歟然而被用中門之號未有先例安嘉宣秋等之門如何又被

内親王爲院